

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法概論Ⅱ		講義	鮫島 一雄	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
次年度の臨床実習を目前にして、今までの単なる知識の詰め込みだけでは、臨床実習への準備は不十分です。この授業では、臨床実習で必要となる P T 学生としての資質・知識面および問題解決能力の向上が目的です。そのため、知識を記憶するだけでなく、自ら考えて問題解決を行う事が重要になります。1年次授業で学んだが忘れていている事や授業中に理解できなかった事項は必ず日々の復習で解決することが大切です。				
授業の到達目標				
・理学療法用語を理解する ・理学療法過程を理解する ・理学療法過程に沿って考えられる ・臨床推論を理解する ・ガイドライン、クリニカルパスを理解する ・SOAPを理解し使える ・電子カルテと紙カルテの違いを知る ・診療報酬制度の概略を理解する				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 理学療法業務（理学療法士ができること）			
2	理学療法過程1(PDCA とEPDCAサイクル、クリニカルリーズニング)			
3	理学療法過程2（情報収集）			
4	理学療法過程3(患者の問題点の抽出)			
5	理学療法過程4(情報の解釈/統合と解釈)			
6	評価の視点			
7	ボトムアップとトップダウン			
8	主訴・要望・ニーズ・ホープと理学療法目標			
9	臨床推論			
10	ロートンモデル 社会保障 保険診療			
11	診療報酬 診療記録 診療記録の書き方 電子カルテと紙カルテ			
12	POSとPOMR SOAP			
13	エビデンス クリニカルパス ガイドライン			
14	SOAP演習			
15	授業まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	試験内容は、小テストに準じる。		
レポート・課題				
小テスト		授業中に4回実施する。		
平常点		授業参加状況等。		
その他				
自由記載	小テストで70点以上の場合は、筆記試験を免除する。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
理学療法概論テキスト 第4版		細田多穂 監修	南江堂	
理学療法概論ⅠⅡ31期生資料（1年次配布分）		担当教員作成分		
理学療法概論Ⅱ31期生資料（2年次配布分）		担当教員作成分		
自由記載	中学・高校等で使用した国語辞典・漢和辞典・英和辞典又は電子辞書を授業中使用する。			
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				